

Book Review

“創” 義歯の時代 Denture Designer への道 T. K. Design 三角理論

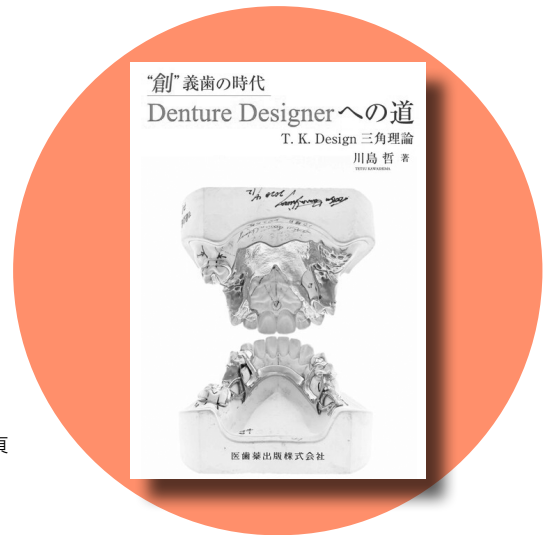
川島 哲 著



Reviewer

平井 順 Jun Hirai
(神奈川県・平井歯科医院)

B5判, 178頁
カラー
定価 8,800円
医歯薬出版刊



本書は、キャストパーシャルの Denture Design の基礎知識から補綴構造設計（数値化）T. K. Design 三角理論までの解説本である。

通常、歯科技工所および歯科技工士へ仕事を依頼する場合、院内外を問わず歯科技工指示書と模型をもとに製作される。依頼を受けた歯科技工士は模型に適合させることを最優先にする。その評価は依頼主である歯科医師および患者の満足度を大きく左右することになる。

本書の著者である川島 哲氏はキャストパーシャルの補綴構造設計（数値化）の理論と精密鑄造による鑄造精度の分野では右に出るものはいないと高く評価をされてきた。筆者も川島 哲氏とは歯科技工を通して10数年来の付き合いがあるが、その間、納得がいかず仕事内容に不満を感じたことはただの一度もない。こうしたクオリティの高い仕事ぶりからして、今に至るには相応の努力だけでなく、人並以上の

仕事に対する強いこだわりや自信、自負があることが想像できる。

実際、この世界でレジェンドとして、半世紀にわたり、キャストパーシャル一筋に仕事をしてきた立場から本書の全般に込められた氏の主張、後輩達へのアドバイスや解説は、実践と経験に裏付けされた揺るぎないものがあり、実に説得力がある。これらのプロセスを想像するだけでワクワクするような興味がわいてくるはずである。

本書は11章から成り立っている。

いずれもテーマに沿って深く掘り下げて書かれているが、筆者が特に興味を抱いたのは半世紀にわたって手がけた10,000床例の仕事のなかで破損部分、たとえばキャストパーシャルデンチャーのレストのチップ、コネクターやスケルトン部、前後のパラタルバーの亀裂等々の破損した部分を一つ一つ丁寧に精査している点である。そのうえで、強度不足の限界値を探り出し、補綴構造設計の数値化を図ることを可

能にしている。

このように、破折したことに対する原因の追及、更に破折を起こさないための工夫や方法を考え、必要な強度とそれを数値化していく。これらのこだわりに対する情熱、熱意、並々ならぬ実行力は、他の追従を許さないまさに本物といえるだろう。

こうした一連の努力は技工物という単なる物を作る人ではなく、尊敬ある歯科医療人としての立場を確立することに一役買っているといえる。さらにこれは筆者の想像であるが、氏がもつ独自の美的センスを生かしたT. K. 三角デザインキャストフレームの考案は実用性だけでなく造形的美しさという点でも付加価値を高めている。

そこには車や絵画、写真撮影など氏を取り巻く多趣味な存在があると思う。加えて元々備わった美的センスも大きい。

川島 哲氏の今後益々の発展とご活躍を心より期待しています。